

令和7年度 第2回 亀玉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年6月3日（火） 13時30分から16時まで
- 2 開催場所 亀玉小学校 会議室
- 3 出席委員 太田富次郎、渡邊剛一、伊藤順子、森田智佳、北野谷富子、中根万理
- 4 欠席委員 平野和江
- 5 オブザーバー 梶 通安（亀玉協働センター職員）出席
- 6 学校支援コーディネーター 町田和代
- 7 学 校 河内浩（校長）、吉川利行（教頭）、阿部泰幸（教務・CS担当）
村瀬美恵子（CSディレクター）
- 8 教育委員会 山本俊行（教育総務課 指導主事）
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター村瀬美恵子
- 11 議長の選出 議長は、前回に伊藤委員に議長をお願いしてあったので確認をした。
全員、異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）授業参観から
- （2）スタートステージの検証と今後の取組について
 - ・ 報告
 - ・ 今後の取組に対する御意見
- （3）児童の様子との報告と今後の地域との連携についての検討
 - ・ 児童の様子との報告と各教科、総合的な学習等における学習ボランティアの要望
 - ・ 意見交換

13 会議記録

初めの言葉と日程を説明した後、委員は授業参観をして会議室に戻った。

会を進めるにあたり、委員7名のうち6名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

太田会長から、スポフェスを参観しての感想として、力の入った内容で、2学年合同の種目内容から児童の成長している姿に感動を得た。この会も全力で走り抜けていきたい、との挨拶があった。

続いて、河内校長から、2ヶ月が過ぎ、スポフェスを終えての児童は落ち着いている。5・6年生には子供同士が作り上げる風土、先輩からの引継ぎから、良い伝統と文化の作成を期待する。学期末までの学校行事、命を考える週間、等についての話があった。

教育委員会教育総務課山本俊行指導主事から、挨拶と浜松市学校運営協議会規則第3条、5条、9条、12条、14条の目的と委員の任期、守秘義務について説明があった。参観時の児童の明るさと委員との親しい姿から寄り添う家族のように感じた。まさに、第3条、地域とともにある学校の実現に資する理念に通じるものであり、そして、校区の伝統の継承と文化の掘り起こしは第5条に通じるものと受け止めた、との話だった。

最初に太田会長が、前回議事録を読み上げた。委員全員で内容を確認し、異議なく承認された。

（1）授業参観から

○委員から授業について下記の感想と御意見をいただいた。

- ・ 地元の調べ学習を楽しそうに、主体的に授業を行っていてよかった。（渡邊委員）
- ・ タブレットを効率良く活用する姿がよく見られてよいと思うが、本を活用しての調

べ学習にも馴染んでほしい。(森田委員)

- ・タブレットを効率良く使う子供と戸惑う子供への対応が心配。(柊セ職員)
- ・ランドセルの重さが子供に負担に思う。ICT を使って楽しく学んでいる姿がよかった。(中根委員)
- ・落ち着いた子供たちの姿がよい。トイレは古いが上手な使用がよい(北野谷委員)
- ・1・2年生のタブレットを使う姿が落ち着いていた。(太田委員)

(2) スタートステージの検証と今後の取組

①報告を阿部教務がした。

- ・「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」各部がスタート・チャレンジ・チェンジ・ステップアップのステージの区切りでPDCAを回している。
- ・「スタート期の成果と課題」「チャレンジ期の取組と共通理解事項」について説明した。
- たくましい子部では、自己を振り返る時間(個人目標・学級目標)があらっ子めあてシートで月1回あるとよいと考え、5・6年生は委員会で自分たちはどうするのかを話し合っていく。今後の取組として、めあてシート、振り返り(月1回)学級目標の在り方、委員会の活用、子供たちへの話し合い手立て、に力を入れていく。
- かしこい子部では、黙想が身に付いてきたので日常化していく。全職員が同一步調で呼び掛ける。今後の取組として、基礎基本の継続(黙想・机上)・ハンドサイン、ノート、タブレット(学び見付け)、に重点を置く。
- やさしい子部では、挨拶の意識はできているが、他学級の子や校外での挨拶に課題がある。今後の取組として、挨拶を広げる・「ありがとう」などの温かい言葉遣い、に重点を置く。

②今後の取組に対する御意見を下記の通りいただいた。

- グランドデザインの実現に向け、協力していただけそうな人材・資源等を地域に問い掛けて、多くの人からの情報を得たい。自治会や協働センターの協力を得て、回覧で「あいさつしよう」の呼び掛けをするとよいのではないか。
地域の人から声を掛けてもらい、関わってもらうのがよいのではないか。
- グランドデザインの実現に向け、学校運営協議会自身ができそうな支援を行っていく。また、地域を引っ張り込むために、学校だより等で地域に告知して広めてもらうとよい
- どう協力をすれば良いのかを学校から教えてほしい。
- ボランティアの楽しさを知らせたい。特にミシンボランティアの声を広げてほしい。
以上のご意見をいただいた。このことを委員全員で確認し、異議なく承認された。

(3) 児童の様子と今後の地域との連携について検討をした。

- 児童の様子と各教科、総合的な学習等における学習ボランティアの要望について、学年主任が1年→6年、わかば・なかよし学級の順で報告した。
- ・1年 外遊びが好きで、活動的な児童が多い。友達関係(コミュニケーションの力)を育てたい。
- ・2年 大変元気で明るく素直で、隣接する学級の1年生に、色々な場面で先輩らしさを発揮し、張り切る姿がよく見られる。自分も周りも健康・安全に、基本が身に付くように、集団で学び、助け合っていくよう支援をしていく。
- ・3年 前進(前にチャレンジ)善心(個性・仲間と協力)切り替えができつつある。
スポーツフェスティバルのソーラン節で自信を付けてたくましくなった。
友達とのかかわり方、正しく見られる子「ふわふわことば」を広げていく。
- ・4年 元気有り。ソーラン節を3年生に教える姿から優しさの自覚と落ち着きが出てき

- た。目標に向けて、生活の規律と基礎学力を身に付けて、学力の向上につなげる。
- ・ 5 年 高学年の意識をもち真面目に取り組み、自分に負けずに努力をするようになった。6 年生・中学生に向けて目標を掲げて生活リズム・学習の定着・頑張る気持ちを育成する。スマホの扱いに注意させたい。
 - ・ 6 年 主体性を発揮して、自分たちの姿を考えて活動する子、やさしい子が多い。委員会（代表委員）等で、他学年とかかわる時間が多い。互いに認め合う子、子供同士の声の掛け合い、中学校生活への期待をもたせる。SNS・動画投稿に注意させたい。
 - ・ わかば・なかよし学級
 - 落ち着いて取り組んでいる。感情のクールダウンの仕方を身に付けようとしている。合言葉「す・ま・い・る」を進める。
- 地域連携と学習ボランティアの要望に基づき、意見交換をした。
- ・ 1 年 昔の遊び（竹トンボ・凧作り・竹鉄砲・杉鉄砲）は、自分が楽しむ為に作った経験があり、作れる人が少なくなっている。町おこしメンバーに協力を依頼。
 - ・ 2 年 夏野菜の栽培をしている。アドバイスがほしい。人との触れ合いを求めている。動物園見学の際の、グループ活動の補助をしてほしい。
 - ・ 3 年 金づちを使う際の安全の見守りをお願いしたい。
梨と柿、施設・文化・伝統の自慢の掲示に向けて、情報を得たい。
 - ・ 4 年 のこぎり・金づちを使う際の安全の見守りをお願いしたい。
インタビューと動画の撮影と児童の企画の反響を伺いたい。（福祉・ユニバーサルデザイン）
 - ・ 5 年 ミシンボランティア・子供のマイボタンのあつかいの補助をお願いしたい。
地域の SDGs 調べ、花の舞酒造・山口屋などに環境（水）に関する話を伺いたい。
 - ・ 6 年 生き方やキャリアについて話を聞く。自分が今在るのは・・・。
エコバック作りでミシンの使い方の補助をお願いしたい。
 - ・ わかば・なかよし学級
 - 畑の野菜作りのサポートと校外学習時の付き添いをお願いしたい。
- 委員から下記の通りご意見をいただいた。
- 広く募集を掛けて、どの位の人がいるかの把握をする。項目別に候補者を見付けておくことが大切と思う。（渡邊委員）
 - 梨と柿以外の施設・文化・伝統（カブス・花の舞酒造）は、ほぼ了承を得ている。（校長）
- このことを委員全員で確認し、異議なく承認された。

14 連絡事項

- （１）第３回学校運営協議会（10 月 25 日・土）について、吉川教頭から案内があった。
- （２）太田会長から、次の話があった。
 - ・ 委員の任期と、後任者の推薦について
 - ・ 次回の司会は、名簿の順番から平野委員にお願いしたい。